

NATOの核共有：その現状

GRIPS SISP/MSPウェビナー 『NATOの核共有：その歴史と現状』

科研費「核不拡散体制の成立と安全保障政策の再定義」プロジェクト (<http://www.nptresearch.org>)

2022年3月16日（水）

合六 強

二松学舎大学国際政治経済学部・専任講師



二松学舎大学
NISHOGAKUSHA UNIVERSITY

在欧米核兵器の前方配備数の変遷

配備開始：50年代半ば～

- 在欧米軍割当

約3000発（60年）→約6000発（65年）

- 核共有割当（西独・伊・白・蘭・土・希・英・加）

- 在欧米軍割当

Max: 約7300発（71年）

- 同上

約4000-4500発（80年代末）

冷戦後、91年PNIで大規模削減

約700発（91-93年）

約480発（～94年）（陸上発射・海上から撤去）

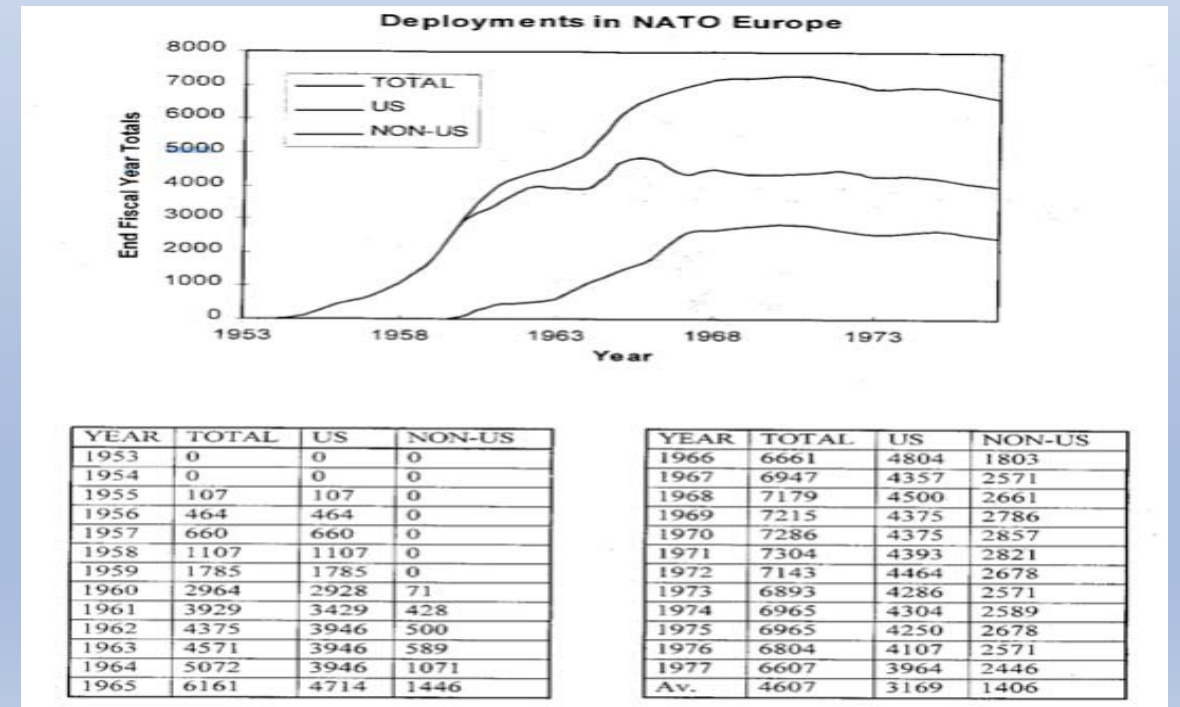
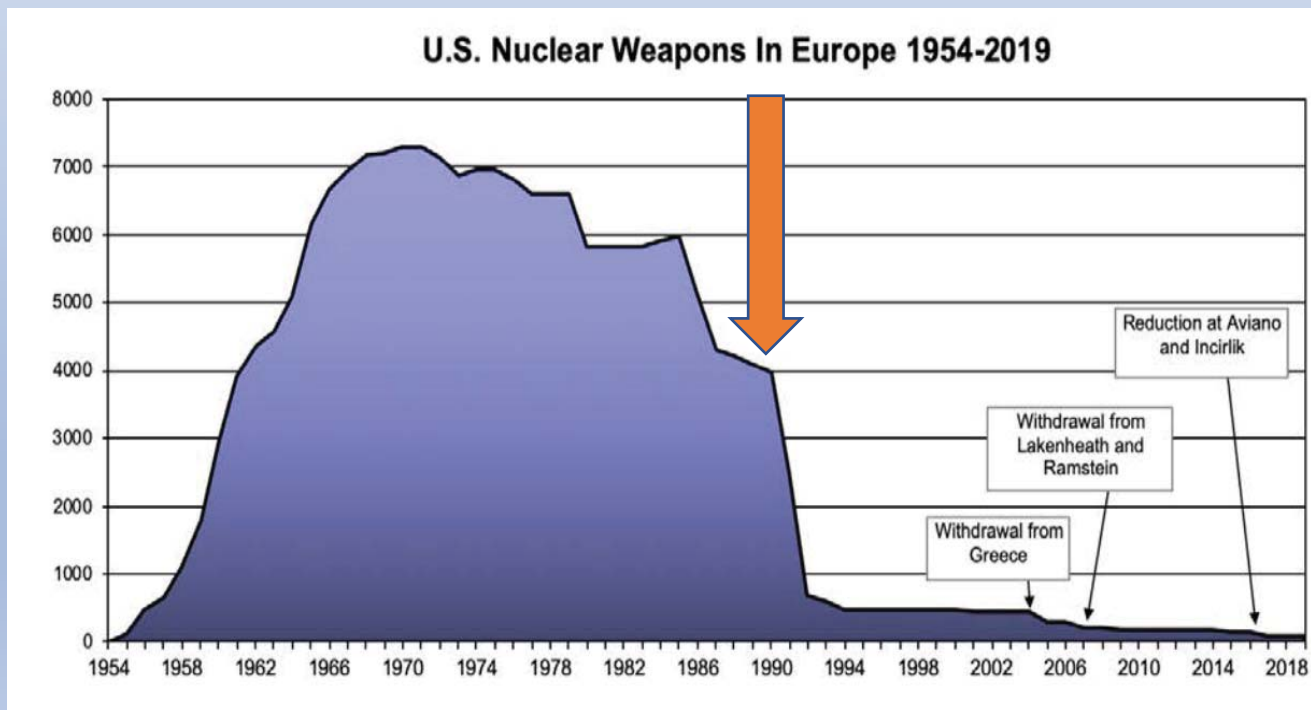
- 核共有：DCA

- 在欧米軍？

21年：約100発（5カ国6基地、pp.6参照）

- 核共有：DCA（約60）

- 在欧米軍？（約40?）



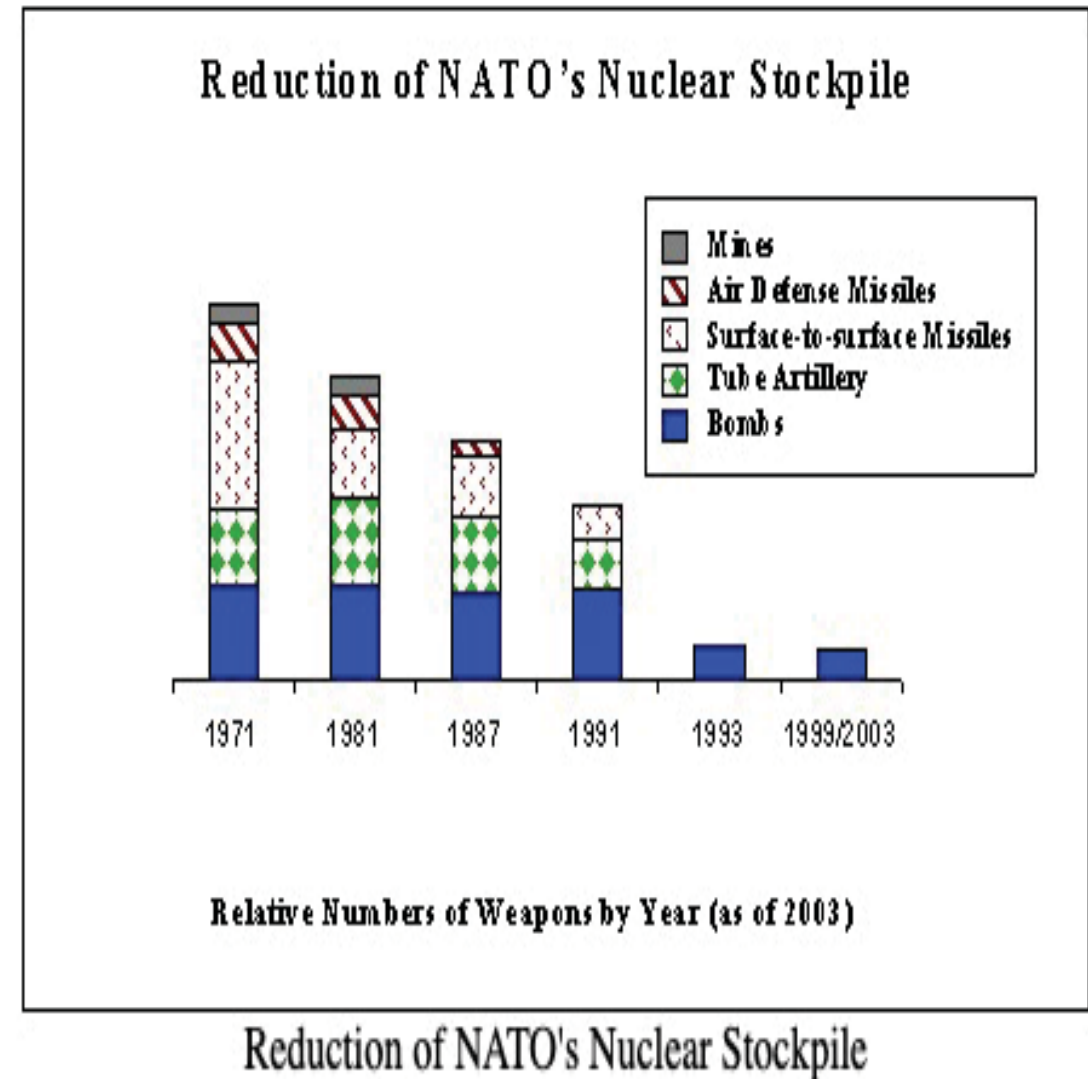
出典 (左) [Hans Kristensen, "U.S. Nuclears in Europe," November, 2019.](#)

(右) [Robert Norris, "United States Nuclear Weapons Deployments Abroad, 1950-1977," History of the Nuclear Age Dinner Series, November 30, 1999.](#)

冷戦終結以降の運搬手段・削減数（内訳）

Nuclear Systems Deployed in Europe

	1971	1981	1987	1991	1999	2003
• Mines	X	X				
• Nike Hercules SAM	X	X	X			
• Honest John SSM	X	X				
• Lance SSM	X	X	X	X		
• Sergeant SSM	X					
• Pershing IA	X	X	X			
• Pershing II			X			
• GLCM			X			
• 155mm Howitzer	X	X	X	X		
• 8-inch Howitzer	X	X	X	X		
• Walleye ASM	X					
• ASW Depth Bombs	X	X	X	X		
• DCA Bombs	X	X	X	X	X	X
Total Systems	11	9	9	5	1	1



※上記には「在欧米軍」が運用する運搬手段も含まれる点に注意（ex. Pershing II/GLCM）
 「核共有」用の運搬手段としては、核砲弾、ADM、SSM、SAM、戦術航空機など。

出典（左） NATO, « NATO Nuclear Fact Sheets », June 4, 2004

（右） NATO, « NATO's Nuclear Forces in the New Security Environment », 2005

「核同盟」としてのNATO

「核が存在する限り、NATOは核同盟[nuclear alliance]であり続ける」 (10年SC~21年宣言)

「SCの誓約を果たすためべく抑止防衛のための核・通常・MD能力の適切なmixを維持する」 (12年DDPR)

➤ 核抑止・防衛態勢 (体制)

● 核兵器国：米英仏3カ国：「(米) 究極の保証」 / 「(英仏) 同盟安保全体に貢献」 (99年SC-21年ほぼ同様)

● 核共有参加国 (米核兵器受け入れ・DCA提供諸国)：5カ国 (次ページ)

：核抑止力の基盤の一つ・核の負担分担で「同盟の一体性と決意を示す」 (21年)

= 「核抑止力の利益、責任、リスクを同盟全体で共有すること」 (NATO's Nuclear Sharing Arrangements, 22年)

● SNOWCAT (Support of Nuclear Operations With Conventional Air Tactics)：7カ国 (チェコ、デンマーク、ギリシャ、ハンガリー、ノルウェー、ポーランド、ルーマニア)：核任務のためのNATOの非核兵器国による協力

➤ 核政策協議体制

■ NPG (核計画グループ 66年12月~)：仏を除く29加盟国 (核政策の検討・議論)：事務総長議長、通常国防大臣レベル

↙ HLG (高級グループ 77年~)：NPG諮問機関 (核セキュリティ・セーフティ含む) 年複数、米議長、代表・専門家

➤ NATO核任務の決定プロセス：NPGの明示的な政治的承認、米大統領 (&英首相) の許可

2014年以降、声明等でのレトリックの「変化」 (核抑止の重要性がより強調)

2019年の核爆弾の前方配備

注：Webinar報告の際には以下の2019年のデータ（推定）をもとに説明しましたが、報告後、2021年のデータ（推定される総数が2019年の150発から100発へと減少）が発表されているというご指摘をいただきました。次ページにそちらを追記いたしますので、最新の情報はそちらをご覧ください。

配備国	基地	NATOでの態勢/役割	弾頭数・核弾頭 (推定)	運搬手段
ベルギー	クライネ＝ブローゲル	核共有・核攻撃	20 B61-3/B61-4 (米製・管理下)	F-16 (ベルギー空軍)
ドイツ	ビューヒェル	核共有・核攻撃	20 B61-3/-4 (米製・管理下)	PA200 トーネード (ドイツ空軍)
イタリア	①ゲーディ /②アヴィアーノ	核共有・核攻撃	20/20 B61-3/-4 (米製・管理下)	PA200 トーネード (イタリア空軍) /F-16 (米空軍)
オランダ	フォルケル	核共有・核攻撃	20 B61-3/-4 (米製・管理下)	F-16 (オランダ空軍)
トルコ	インジルリク	(核共有?)	50 B61-3/-4 (米製・管理下)	NONE ※F-104退役、F-16現役 (土空軍) に核攻撃任務はなし。米戦闘機常駐なし、トルコ外から飛行・搭載のみ?

B61-3(0.3kt-170 kt)/B61-4 (0.3kt-50kt)

※NATOは公式データを公開していないため、上記は見積もり数であることにも留意。

※カナダ (~84年)、ギリシャ Araxos基地 (~01年)、英国 RAF Lakenheath基地 (-08年) & その他上記国の一部基地

(独 Norvenich基地-96年, 独 Ramstein基地-07年 (以前は最も多く置かれる)、土 Akinch基地 ~96年, 土 Balikeshir基地~96年) から撤去

※ 現在、B61シリーズの近代化にむけて最新のB61-12 (Guided Standoff) の備蓄前 (生産完了, FY25 国家核安全保障局)

2021年の核爆弾の前方配備

加盟国	基地	NATOでの役割/態勢	弾頭数・核弾頭 (推定) ※赤字=約60発 核共有割当	運搬手段
ベルギー	クライネ＝ブローゲル	核共有・核攻撃	15 B61-3/-4 (米製・管理下)	F-16 (ベルギー空軍)
ドイツ	ビューヒェル	核共有・核攻撃	15 B61-3/-4 (米製・管理下)	PA200 トーネード (ドイツ空軍)
イタリア	ゲーディ ／アヴィアーノ	核共有・核攻撃	15/20 B61-3/-4 (米製・管理下)	PA200 トーネード (イタリア空軍) /F-16 (米空軍)
オランダ	フォルケル	核共有・核攻撃	15 B61-3/-4 (米製・管理下)	F-16 (オランダ空軍)
トルコ	インジルリク	?	20 B61-3/-4 (米製・管理下)	NONE ※F-104退役、F-16現役 (土空軍) に核攻撃任務はなし。米戦闘機常駐なし、トルコ外から飛行・搭載のみ?

B61-3(0.3kt-170 kt)/B61-4 (0.3kt-50kt)

※NATOは公式データを公開していないため、上記は見積もり数であることに留意。

※カナダ (～84年)、ギリシャ Araxos基地 (～01年)、英国 RAF Lakenheath基地 (-08年) & その他上記国の一部基地 (独 Norvenich基地-96年, 独 Ramstein基地-07年 (以前は最も多く置かれる)、土 Akinch基地 ~96年, 土 Balikeshir基地～96年) から撤去

※ 現在、B61シリーズの近代化にむけて最新のB61-12 (Guided Standoff) の備蓄前 (生産完了, FY25 国家核安全保障局)

「同盟管理」としての核共有

維持

- 米「コミットメントの象徴」（「あったものがなくなる」ことの意味）
- リスク・責任・利益の共有によるindivisible securityの象徴
- 米核政策への影響力の保持
- NATO東側諸国への安心供与
- 同盟内の核拡散防止（NPTとの両立）
- NATO-ロシアの非戦略核バランス
- 抑止力の信頼性強化（シグナリング・エスカレーションラダーの一つ）
- 撤去後、危機時の再配備によるエスカレーション

etc…

削減・撤去

- 米戦略核&通常戦力で安保提供
- 軍事的価値過大評価、安保上の重要性低下（inertia）
- 世論の反発（ex 独66%「核抑止」不支持 20年）
- 保管リスク
- DCA更新コスト
- 米核政策に影響与えられず？（exトランプ期）

etc…

既存の核アレンジメント

● 独自の核保有

- 米、英、仏、中、ロ（NPT第9条3の「核兵器国（NWS）」）
- インド、パキスタン、北朝鮮、イスラエル（NPT外/違反・事実上の核保有国）

● 核の傘

NATO

- （戦略核）米拡大抑止
- 核「共有」制度（非戦略核）
- 核協議体制（NPG）
- （在欧米軍割当核前方配備？）
- （SNOWCAT：非核保有同盟国による核任務演習への協力）

アジア

- （戦略核）米拡大抑止
- 拡大抑止協議（日本 EDD・韓国）

● 過去存在した形：米核兵器の前方配備（50年代末～90年代初頭）※駐留米軍使用

- 欧州諸国（これは一部現在もか？）
- アジア：韓（58-91年）、台(57/58-74年)、比（57/58-76年）、沖（54-72年）
※ 67年ピーク：約3200発（うち沖縄 約1287発、韓国 949発）
※ 70年代末までに韓国のみが配備先⇒PNIにより、91年12月に韓国から撤去

主要参考文献（日）

- 新垣拓『ジョンソン政権における核不拡散政策の変容と進展』ミネルヴァ書房、2016年
- 新垣拓「NATO核共有制度の多角化に向けた取り組み：アイゼンハワー政権におけるNATO・MRBM戦力案の形成過程」GRIPS Discussion Papers 18-19, 2018.https://grips.repo.nii.ac.jp/index.php?active_action=repository_view_main_item_detail&page_id=13&block_id=24&item_id=1658&item_no=1
- 一政祐行「軍備管理・軍縮における戦術核問題」『国際安全保障』40-4, 2013年。
- 岩間陽子『核の一九六八年体制と西ドイツ』有斐閣、2021年。
- 岩間陽子「西ドイツと戦術核兵器」『国際安全保障』40-4, 2013年。
- 岩間陽子 東京新聞2022年3月6日インタビュー「核共有 日本導入なら非核三原則変更は不可欠 岩間陽子政策研究大学院大学教授に聞く https://www.tokyo-np.co.jp/article/163892?fbclid=IwAR19dBupr0qCjGo34xcAcSniJhgy3tkYJJGGU_ZCrANbigjLljrylCvBw
- 岩間陽子 『独「シュルツ新政権」の核政策（1）3党連立で浮上した「NATO核共有」離脱問題』 2022年2月10日 [新潮社Foresight掲載版](#) [Yahoo!ニュース掲載版](#)
- 岩間陽子 『独「シュルツ新政権」の核政策（2）核禁条約オブザーバー参加は実現するのか？』 2022年2月10日 [新潮社Foresight掲載版](#) [Yahoo!ニュース掲載版](#)
- 太田昌克「戦術核と拡大抑止：アメリカ冷戦戦略の「源流」からー」『国際安全保障』40-4, 2013年。
- 梅本哲也『核兵器と国際政治、1945-1995年』日本国際問題研究所、1996年。
- 小泉悠「ロシアの安全保障政策における戦術核兵器の位置付けと展望」『国際安全保障』40-4, 2013年。
- 小川健一「冷戦期NATOの核協議：在欧戦術核兵器の暫定政治指針の考察」『防衛学研究』64号、2021年。
- 菅英輝、初瀬龍平編『アメリカの核ガバナンス』晃洋書房、2017年。
- 倉科一希「米欧同盟と核兵器拡散問題：ケネディ政権の対西独政策」『国際政治』第126号、2001年2月。
- 合六強「NATO「二重決定」とINF条約」高橋杉雄・森本敏編『新たなミサイル軍拡競争と日本の防衛：INF条約後の安全保障』並木書房、2020年。
- 高橋杉雄・森本敏編『新たなミサイル軍拡競争と日本の防衛：INF条約後の安全保障』並木書房、2020年。
- 鶴岡路人「欧州戦術核問題の構図」『国際安全保障』40-4, 2013年。
- 戸崎洋史「第4章：NATO：「核の忘却」の終焉？」秋山信将・高橋杉雄編『「核の忘却」の終わり：核兵器復権の時代』勁草書房、2019年。
- 村野将「非核三原則の見直しと「核共有」は、東アジアの拡大抑止モデルとなりうるかー核をめぐる安全保障課題と日本の対応」2022年3月11日 <https://www.fsight.jp/articles/-/48700>

主要参考文献（英）

- Amy Wolf, “Nonstrategic Nuclear Weapons,” CRS, March 7, 2022. <https://sgp.fas.org/crs/nuke/RL32572.pdf>
- Brad Roberts, *The Case for U.S. Nuclear Weapon in the 21st Century*, Stanford University Press, 2016.
- Hans Kristensen, “U.S. Nuclear Weapons in Europe.” November 1, 2019. https://uploads.fas.org/2019/11/Brief2019_EuroNukes_CACNP_.pdf
- Hans Kristensen, “U.S. Nuclear Weapons in Europe: A Review of Post-Cold War Policy, Force Levels, and War Planning,” *Natural Resources Defense Council*, February 2005. <https://www.nrdc.org/sites/default/files/euro.pdf>
- Hans Kristensen and Matt Korda, “United States nuclear weapons, 2021,” *Bulletin of the Atomic Scientists*, 77-1, 2021. <https://www.tandfonline.com/doi/pdf/10.1080/00963402.2020.1859865?msckid=23b2da47a5c311ec8703b1a55144bf4e>
- Hans Kristensen, “NNSA Removes F/A-18F Super Hornet From Nuclear Bomb Fact Sheet,” December 15, 2021, *Federation of American Scientists* (Blog, Strategic Security). https://fas.org/blogs/security/2021/12/fa-18_removed-from-fact-sheet/
- Jeffrey Larsen, “*The Future of U.S. Non-Strategic Nuclear Weapons and Implication for NATO: Drifting Toward the Foreseeable Future*,” *A Report prepared in accordance with the requirements of the 2005-06 NATO Manfred Wornier Fellowship for NATO Public Diplomacy Division, October 31, 2006.* <https://www.nato.int/acad/fellow/05-06/larsen.pdf>
- NATO, “NATO Nuclear Deterrence”, February 2020. https://www.nato.int/nato_static_fl2014/assets/pdf/2020/2/pdf/200224-factsheet-nuclear-en.pdf
- NATO, “NATO’s Positions Regarding Nuclear Non-Proliferation, Arms Control and Disarmament and Related Issues” https://www.nato.int/nato_static_fl2014/assets/pdf/pdf_topics/20091022_NATO_Position_on_nuclear_nonproliferation-eng.pdf
- NATO, “NATO’s Nuclear Forces in the New Security Environment,” . https://www.nato.int/nato_static_fl2014/assets/pdf/pdf_topics/20091022_Nuclear_Forces_in_the_New_Security_Environment-eng.pdf
- NATO, “Factsheet, NATO’s Nuclear Sharing Arrangements,” February 2022. https://www.nato.int/nato_static_fl2014/assets/pdf/2022/2/pdf/220204-factsheet-nuclear-sharing-arrange.pdf
- NATO, “NATO’s nuclear deterrence policy and forces,” February 23, 2022, https://www.nato.int/cps/en/natohq/topics_50068.htm
- Stephan Frühling and Andrew O’Neil eds, *Alliances, Nuclear Weapons and Escalation: Managing Deterrence in the 21st Century*, ANU Press, 2021. <https://press.anu.edu.au/publications/alliances-nuclear-weapons-and-escalation>
- Office of the Assistant to the Secretary of Defense (Atomic Energy), *History of the Custody and Deployment of Nuclear Weapons: July 1945 through September 1977*, February 1978. <http://nautilus.org/wp-content/uploads/2015/04/306.pdf>